

2020年度

(公社) 自動車技術会中部支部通常総会

議案:

1. 2019年度 支部事業報告の件
2. 2019年度 支部会計決算報告の件
3. 2019年度 支部事業および会計監査報告の件
4. 2020-21年度 支部役員の件
5. 2020年度 支部方針および事業計画の件
6. 2020年度 支部予算の件



公益社団法人 **自動車技術会 中部支部**

[議案 1] 2019年度 支部事業報告の件

1. 概要

公益社団法人として社会的責任および会員への責任を果たすため、中部支部の特性を活かし、会員相互の交流と自己研鑽を支援するとともに、会員へのサービス向上をめざし、有意義な行事運営に努めてきた。その結果、定例行事において、見学会・研究発表会・講演会・技術講習会・技術交流会・技術者懇談会・学生自動車研究会・社会貢献「キッズ・モノづくりワンダーランド」など58回開催し、延べ4,246名の参加を得た。また支部会員数は2018年度末に対し2019年度末は43名増加の23,229名となり、減少傾向に歯止めをかけられたが、目標に対し、73名の未達となった。中部支部は昨年度とほぼ同等の44.7%の占有率の維持であり、過去までの結果と変化のない状況となっている。

2. 2年間の活動のポイント

(1) 中部支部改革の実行と定着

中部支部の事務局および幹事の負担低減、運営の適正化、会員サービスの向上を狙い、2018年度事業計画に織り込み、実行と定着を図った。

技術者育成事業では、見学会の回数、体験型講習会の新規事業化と会員の参加できる機会を増やし、また会員の興味を引き付ける講習会内容とし募集定員を増加した。人とくるまのテクノロジー展名古屋での、中部支部主催の講演会、研究発表会を開催し、会員の方のみならず、広く自動車技術会を知っていただく場所を提供も行った。結果、中部支部事業の参加者数は、17年度に対し、18年度からの2年間は、各年とも+650名となり、安定した支部運営を行えた。

社会貢献活動では、子ども向けの「キッズ・モノづくりワンダーランド」を継続。従来教材に加えて新教材としてロボットカー・プログラミングを開始し、より多くの子どもたちに体験の場を広げ、社会貢献を推進できた。学生自動車研究会活動では、学生フォーミュラ活動でのサポートを厚くすることで、中部支部からの参加校が優勝・上位入賞の活躍となった。

(2) 会員増強活動

18年度より、会員数は減少に転じた。この対策として、自動車技術の新技术領域、いわゆるCASEにかかわる技術者を会員増強のターゲットとし、活動に取り組むワーキングを発足し、活動を開始した。新たな技術領域に関連している人に自動車技術会中部支部の有益性を示すこととして、中部支部ならではのイベントを企画するイベント企画グループと、その企画提案、および中部支部事業の魅力を外部に発信する企画を行う、情報発信グループの2グループを結成。今後1年間の活動を行い、広く自動車技術会の有益性を感じてもらい、会員になっていただくよう企画提案をまとめてゆく。

3. 2019年度詳細

(1) 会員数推移

2019年度末の会員数は、目標の23,302名に対し73名下回り、23,229名と2年連続の目標未達となった。今後の会員増強、維持のためには、自動車業界だけにとどまらず、新技術領域分野を視野に入れたさらなる魅力ある事業の企画と共に認知度向上に向けた効果的な活動が必要となる。

(2) 役員会

役員会は10回実施。内容としては、ポイントを絞った事業計画の報告、質疑応答時間に余裕を持った時間配分とし、論議の活発化を図ることができた。また、役員、事務局の負荷低減となる「構成／規模」と狙いとし、総会を名古屋観光ホテルでの開催、改選年となる秋季役員会の合同開催を時期を考慮し行った結果、両役員会とも混乱なくスムーズな運営ができた。

(3) 支部事業

①見学会

18年度に引き続き14回を計画したが、12回の実施となった。

(2回の中止は、1回は見学先都合、1回はCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)の影響)参加人数は455/478名(19年度/18年度)であったが、2回の中止がなければ、昨年度以上の参加者と考えられる。また、申込み定員割れ対応を実施することで定員割れは2回/5回(19年度/18年度)と減少し効果があった。参加者の評価は見学、講演とも2018年度と同等の高評価を得た。

②技術講習会

幅広い分野の会員が満足できる講習会とするために、関心の高いテーマを選定、実車展示や講師との交流の時間を取り入れた構成とし、回ごとの差はあるが全体として681名/680名(実績/計画)と計画通りの参加となった。

③技術交流会

交流会では、意見交換の活発化を促進するため開催前に事前Webアンケートをとり、期待や質問を集約し、全体討議の題材とし、グループ討議は講師をリーダーの4グループとして参加者間の交流をより深める場とした。18年度から試行を重ね、19年度は事前Webアンケートの充実に努め、ここで提示する講演概要を1000字程度で参考文献も付加された文章や当日スライドの抜粋から参考書を構成し、期待や質問事項の誘起を目指した結果、全体討議、グループ討議(意見交換)は大変有意義と好評。第1回、2回の参加者は合計85名であった。

④技術者懇談会

若手技術者懇談会、中堅技術者懇談会については、グループ人数の適正化や講演スケジュールの変更、などを実施した2年目であったが、評価は例年通り高評価を維持している。女性技術者懇談会については、女性アドバイザーを1名→4名に増やし部分的に企画・運営を行って頂いた。その結果も踏まえて次年度以降の企画・運営を考えてゆく。各懇談会の参加者合計は92名であった。

⑤体験型講習会

「見る」「聴く」に加え「体験する」こと、若手・中堅活性を狙いとして開催。一般会員向けの参加者は20-30代が80%/70%（19年度/18年度）と向上。ABS講義と最新ブレーキ技術で理解を深めるとともに、自分自身の運転力量や安全意識の向上が見られ、低μ路でのABS体験、昼休みに実施したアウトランダー（アラウンドビュー）による「死角体験」も好評であった。参加者は一般向け38名、学生向けは20名であった。

⑥学生自動車研究会

全日本学生フォーミュラ日本大会では名古屋工業大学優勝、名古屋大学3位・EV部門優勝という誇れる結果を残すことができた。学生主体のイベントは試走会が予定より1回少ない実施結果となったが他の行事は滞りなく安全に遂行できた。新規イベントである雪氷路でのドライビング講習会は会場の積雪状態が悪く残念ながら中止となった。

⑦社会貢献「キッズ・モノづくりワンダーランド」

7県、10拠点で開催し、延べ854人子どもたちが参加。新教材であるロボットカーの本格運用を開始した。開催方式の館主体化、祝日開催、学生の援助などにより委員の負担低減に取り組み効果が出てきている。また、機会創出として、エンジン分解、ロボットカーの参加者を18年度に対し増加する体制も確立できた。

⑧支部報

85号 特集；限界に挑む（24,560部）、および86号 特集；うつりゆく（24,700部）の2刊を発行した。

記事の外注化は、各号とも2件とし編集委員の負荷低減に貢献。振り返り会で今後の対応確認。総ページ数は増やさず、読みやすいをめざし、掲載記事を選択した。広告料金改定と外税化の実施。編集費用は広告料金で賄える目途が立った。QRコードによるスマートホンからのアンケート回答を可能にしたことにより、アンケート数が従来より約30%増加。データ分析し、今後の記事内容に活かす。

⑨ワーキング活動

支部通常総会の講演会および、人とくるまのテクノロジー展名古屋併催の研究発表会、講演会にたいし、一層の会員サービス向上を目的に、ワーキング活動として実施。

総会の講演会は135名、人テク展の研究発表会は、506名、講演会は2講演合わせ599名が参加し、会員サービス向上につなげることができた。なお、総会講演会は委員会として20年度から活動し、話題性のある講演会の企画を行う。

(4) 協賛ほか

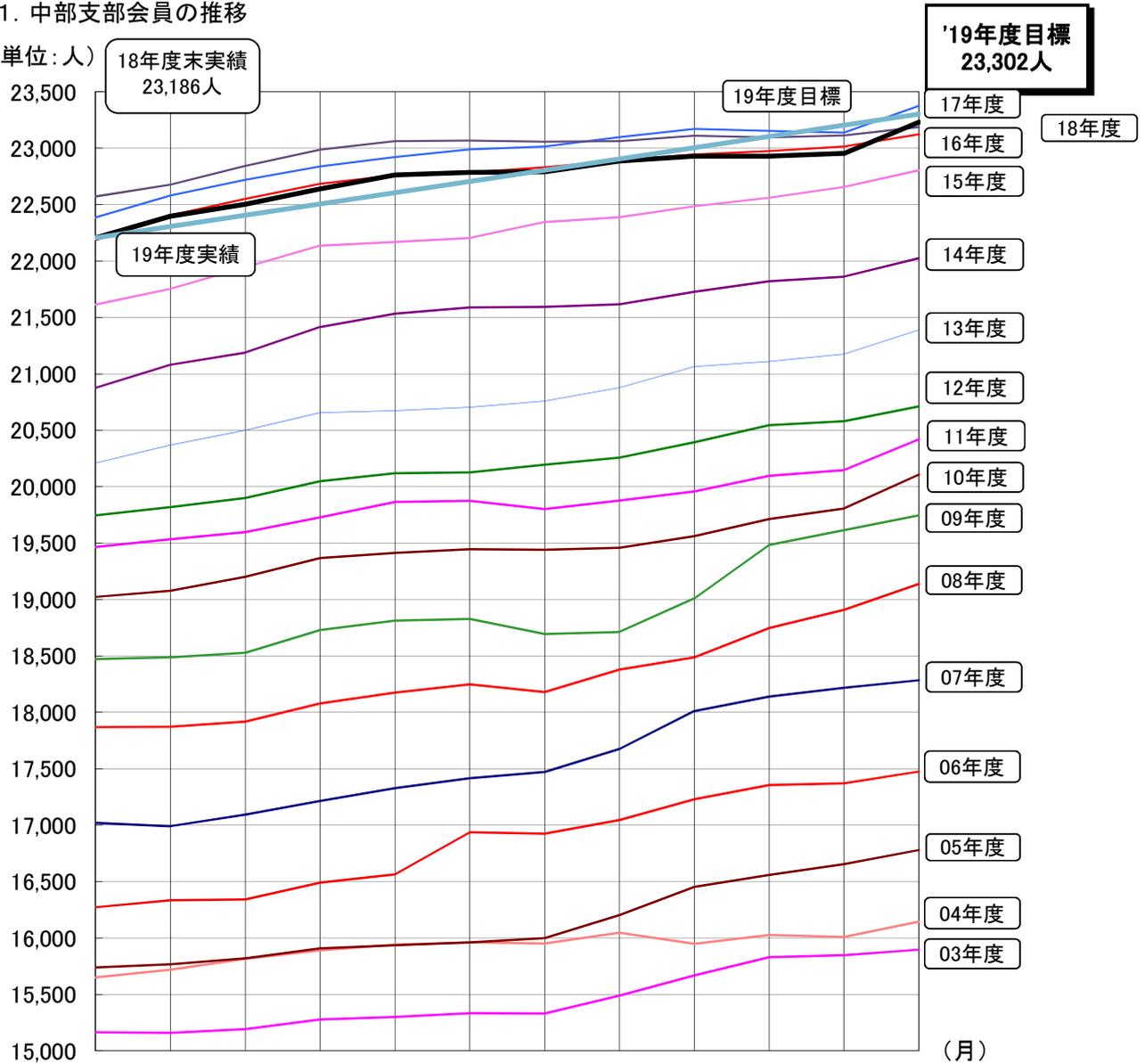
他学会等13機関・24事業に協賛・協力し、会員サービスの向上を図った。

11月の第5回講習会をポートメッセなごやで開催し、「ITS ワールド2019」「名古屋モーターショー」と同時開催とした。

別紙1 会員状況

1. 中部支部会員の推移

(単位:人)



年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3月前年比
03年	15,165	15,160	15,192	15,279	15,300	15,333	15,332	15,491	15,668	15,829	15,848	15,897	442
04年	15,651	15,719	15,814	15,890	15,941	15,961	15,952	16,047	15,948	16,028	16,010	16,145	248
05年	15,739	15,766	15,819	15,909	15,937	15,962	15,998	16,204	16,452	16,558	16,655	16,780	635
06年	16,273	16,335	16,341	16,491	16,564	16,938	16,924	17,046	17,229	17,356	17,371	17,475	695
07年	17,020	16,991	17,093	17,214	17,328	17,416	17,472	17,677	18,011	18,141	18,218	18,285	810
08年	17,869	17,873	17,917	18,079	18,176	18,248	18,181	18,380	18,489	18,747	18,909	19,138	853
09年	18,473	18,488	18,527	18,730	18,814	18,828	18,695	18,711	19,009	19,483	19,615	19,746	608
10年	19,023	19,078	19,201	19,368	19,412	19,447	19,441	19,459	19,562	19,713	19,806	20,107	361
11年	19,466	19,533	19,596	19,728	19,864	19,875	19,801	19,877	19,957	20,096	20,148	20,420	313
12年	19,745	19,820	19,900	20,049	20,120	20,127	20,196	20,257	20,395	20,546	20,580	20,711	291
13年	20,210	20,368	20,501	20,655	20,674	20,705	20,760	20,877	21,065	21,111	21,175	21,390	679
14年	20,876	21,080	21,187	21,414	21,534	21,588	21,594	21,618	21,729	21,822	21,862	22,024	634
15年	21,613	21,754	21,945	22,137	22,169	22,205	22,345	22,389	22,485	22,560	22,656	22,804	780
16年	22,186	22,404	22,549	22,684	22,759	22,784	22,830	22,889	22,944	22,973	23,014	23,122	318
17年	22,386	22,579	22,718	22,838	22,921	22,988	23,013	23,098	23,171	23,153	23,138	23,374	252
18年	22,571	22,676	22,842	22,985	23,061	23,066	23,056	23,061	23,110	23,095	23,112	23,186	-188
19年	22,204	22,396	22,503	22,637	22,762	22,783	22,789	22,885	22,929	22,927	22,953	23,229	43
19年目標	22,204	22,304	22,404	22,504	22,604	22,704	22,804	22,904	23,004	23,104	23,204	23,302	116

2. 中部支部グループ別会員数年次推 (1/2)

(年度)

No.	グループ名	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
1	トヨタ自動車(株)	4,168	4,264	4,283	4,313	4,460	4,799	4,833	4,844	4,747	4,991
2	スズキ(株)	1,979	2,002	2,036	2,172	2,250	2,443	2,501	2,609	2,672	2,679
3	(株)デンソー	2,339	2,422	2,484	2,533	2,591	2,608	2,639	2,654	2,706	2,671
4	アイシン精機(株)	947	997	1,039	1,137	1,271	1,420	1,479	1,545	1,589	1,650
5	三菱自動車工業(株)	1,278	1,281	1,328	1,390	1,421	1,427	1,350	1,427	1,388	1,380
6	トヨタ車体(株)	973	1,005	1,046	1,120	1,134	1,152	1,194	1,223	1,234	1,263
7	アイシン・エイ・ダブリュ(株)	762	803	867	881	922	938	972	964	967	973
8	トヨタ自動車東日本(株)	664	691	691	701	698	690	704	695	686	651
9	トヨタ紡織(株)	427	469	499	512	502	523	516	563	577	582
10	(株)豊田自動織機	370	384	391	404	454	486	531	549	559	529
11	(株)アドヴィックス	287	286	322	359	416	448	456	460	460	478
12	ヤマハ発動機(株)	401	405	404	402	420	427	442	425	414	425
13	愛知機械工業(株)	400	403	402	403	401	388	374	361	372	374
14	三菱自動車エンジニアリング(株)	244	234	235	245	263	296	305	213	229	247
15	日本特殊陶業(株)	173	182	190	191	191	192	188	173	172	175
16	(株)東海理化	128	133	139	137	154	152	145	154	151	163
17	(株)ジェイテクト	129	126	126	128	126	122	133	136	133	156
18	大同メタル工業(株)	166	164	169	167	171	169	165	161	157	151
19	デンソーテクノ(株)	131	127	123	152	155	159	147	151	146	148
20	(株)豊田中央研究所	184	177	172	170	169	173	170	170	152	145
21	アイシン高丘(株)	130	121	108	109	112	126	126	127	122	132
22	ジヤトコ(株)	164	161	145	140	128	132	146	151	155	126
23	愛三工業(株)	103	103	96	94	105	111	108	133	124	116
24	トヨタ名古屋自動車大学校	25	41	34	50	83	137	142	146	131	94
25	本田技研工業(株)(鈴鹿)	213	213	190	148	138	131	129	123	99	88
26	名古屋大学	31	44	40	58	60	71	88	78	78	71
27	豊田合成(株)	122	122	111	93	83	81	78	77	68	64
28	名城大学	38	38	46	43	27	17	15	32	51	57
29	臼井国際産業(株)	56	57	57	57	55	56	56	56	56	56
30	豊橋技術科学大学	42	46	40	54	56	56	57	48	56	56
31	大豊工業(株)	64	65	60	61	63	62	56	53	50	50
32	静岡理工科大学	46	45	45	51	37	54	67	59	52	41
33	金沢工業大学	63	66	61	66	69	72	55	62	47	38
34	名古屋工業大学	15	21	26	38	39	35	48	50	48	37
35	(株)ダッド	106	101	53	51	36	35	34	34	36	35
36	トヨタテクニカルディベロップメント(株)	105	116	117	145	170	17	17	27	35	35
37	富山大学	16	27	17	23	22	20	35	26	28	34
38	本田技研工業(株)(浜松)	61	70	71	68	57	49	42	36	31	29
39	矢崎総業(株)	8	11	9	40	39	39	39	33	31	29
40	愛知工業大学	—	—	21	32	47	53	40	31	20	27
41	金沢大学	57	36	31	39	41	33	29	34	30	23
42	福井大学	15	14	20	19	28	26	27	29	25	23
43	(株)エッチ・ケー・エス	21	24	26	24	22	21	19	19	20	21
44	愛知製鋼(株)	30	32	28	25	25	24	22	20	8	16
45	ユニプレス(株)	4	4	4	9	11	17	19	17	17	16
46	静岡大学	25	33	48	53	41	36	26	23	17	15
47	日本電産モビリティ(株)	20	21	21	17	21	19	20	20	17	14
48	フタバ産業(株)	5	5	5	20	16	18	18	17	15	13
49	日本ガイシ(株)	14	19	20	19	21	18	19	11	13	12
50	(株)小糸製作所	9	9	9	9	10	10	11	11	11	11

2. 中部支部グループ別会員数年次推 (2/2)

(年度)

No.	グループ名	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
51	(株)三五	10	9	10	9	10	10	10	10	10	10
52	富士機工(株)	22	22	21	19	18	18	18	13	10	10
53	中日本自動車短期大学	19	21	18	17	14	12	11	11	10	10
54	愛知工科大学	16	16	15	16	16	15	15	13	11	9
55	(株)FTS	8	8	10	16	16	16	14	11	10	9
56	岐阜大学	16	20	17	27	32	27	19	16	8	9
57	住友電装(株)	—	—	—	11	9	10	10	10	9	9
58	(株)ランテックス	10	10	10	9	9	9	10	11	9	9
59	マルヤス工業(株)	6	6	6	6	8	11	1	9	9	9
60	福井工業大学	16	12	8	3	1	1	1	1	1	8
61	(株)エフ・シー・シー	11	11	9	7	7	7	8	7	7	7
62	THKリズム(株)	12	12	12	12	11	10	10	8	7	7
63	豊臣機工(株)	—	—	—	9	8	7	7	7	7	7
64	林テンプ(株)	—	—	—	11	11	11	10	8	7	7
65	(株)オティックス	3	4	5	5	6	7	7	7	6	6
66	住友理工(株)	—	—	—	8	6	6	3	3	4	5
67	高山自動車短期大学	9	7	7	7	7	6	5	5	5	5
68	(株)村上開明堂	—	—	—	5	5	5	5	5	5	5
69	KYB(株)	10	6	5	5	4	4	4	4	4	4
70	ジェイ・バス(株)(金沢)	7	6	5	4	3	4	4	4	4	4
71	(株)榎屋	—	—	—	5	5	5	4	4	4	4
72	中央発條(株)	7	6	7	5	5	4	4	3	3	3
73	愛知トヨタ自動車(株)	4	4	4	4	3	2	2	2	2	2
74	小島プレス工業(株)	5	4	4	4	3	3	3	3	3	2
75	太平洋工業(株)	2	2	2	4	3	3	3	3	3	2
76	豊田鉄工(株)	5	4	3	3	4	4	4	5	3	2
77	大同大学	36	25	21	18	3	2	2	1	0	0
78	アイシン・エーアイ(株)	—	—	—	—	18	17	16	16	11	—
79	アスモ(株)	278	264	246	237	226	235	219	228	115	—
80	アンデン(株)	8	9	8	7	7	5	4	3	2	—
81	(株)ソミック石川	—	—	—	6	6	6	6	0	0	—
82	(株)ユニバンス	4	4	4	5	5	3	4	3	3	—
83	イビデン(株)	—	—	—	6	6	4	0	—	—	—
84	(株)豊橋設計	6	6	6	6	6	—	—	—	—	—
85	産業技術総合研究所	3	3	4	—	—	—	—	—	—	—
86	CDS(株)	23	19	19	—	—	—	—	—	—	—
87	(株)ショーワ	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
88	名古屋トヨペット(株)	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—
89	岐阜車体工業(株)	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	個人	1,787	1,677	1,720	1,702	1,692	1,727	1,847	1,880	1,892	1,855
	合計	20,107	20,420	20,711	21,390	22,024	22,804	23,122	23,374	23,186	23,229

3. 支部別会員数

区分(支部)		2018年度末現在	2019年度末現在	前年度比増減	占有率(%)
名誉 会 員	北海道	1	1	0	2.0
	東 北	0	0	0	0.0
	関 東	31	30	▲ 1	60.0
	中 部	13	12	▲ 1	24.0
	関 西	5	5	0	10.0
	九 州	1	2	1	4.0
	海 外	0	0	0	0.0
	小 計	51	50	▲ 1	100.0
正 会 員	北海道	177	178	1	0.4
	東 北	477	452	▲ 25	0.9
	関 東	18,434	18,512	78	37.9
	中 部	22,475	22,616	141	46.2
	関 西	6,166	6,104	▲ 62	12.5
	九 州	815	792	▲ 23	1.6
	海 外	237	254	17	0.5
	小 計	48,781	48,908	127	100.0
準 会 員	北海道	0	0	0	0.0
	東 北	0	0	0	0.0
	関 東	0	0	0	0.0
	中 部	0	0	0	0.0
	関 西	0	0	0	0.0
	九 州	0	0	0	0.0
	海 外	0	0	0	0.0
	小 計	0	0	0	0.0
学 生 会 員	北海道	62	75	13	2.5
	東 北	153	147	▲ 6	5.0
	関 東	1,422	1,269	▲ 153	42.8
	中 部	698	601	▲ 97	20.3
	関 西	605	627	22	21.2
	九 州	267	209	▲ 58	7.1
	海 外	26	34	8	1.1
	小 計	3,233	2,962	▲ 271	100.0
支 部 会 員	北海道	240	254	14	0.5
	東 北	630	599	▲ 31	1.2
	関 東	19,887	19,811	▲ 76	38.2
	中 部	23,186	23,229	43	44.7
	関 西	6,776	6,736	▲ 40	13.0
	九 州	1,083	1,003	▲ 80	1.9
	海 外	263	288	25	0.6
総 計	52,065	51,920	▲ 145	100.0	

別紙2 2019年度 中部支部事業実績

1. ()内は開催会場で、[]は担当会社・担当校を示す。
2. 見学会の見学先は、候補先として新着中のものもある。

事業	通 常 幹 事 会 担 当 理 事 会	幹 事 任 務 幹 事 会 担 当 理 事 会	見 学 会	研 究 発 表 会 講 義 演 習 会 講 義 演 習 会	技 術 交 流 会 技 術 者 懇 談 会	社 会 貢 献	学 生 自 動 車 研 究 会 学 生 フォー ミ ュ ア	出 版
4月			12日(金) No.1 (株)島津製作所 本社・三条工場 [デンソー]	19日(金) 第1回技術講習会 (アトシティ浜松) [スズキ]		14日(日) 第1回キッズ・モノづくり ワンダーランド (愛知:とよた科学体験館) [東海理化]	13日(土) 参学会#1・学生委員会#1 (刈谷市産業振興センター)	1日 支部ニュースNo.181発行
5月	14日(火) 春季合同役員会 (No.3 担当理事会) (No.5 常任幹事会) KKRホテル名古屋 [愛知機械工業] 22日(水)~24日(金) 本部春季大会 23日(木) 本部第9回定時総会 (パシフィコ横浜)		10日(金) No.2 ヤマハ発動機(株) 本社工場 [豊田合成]			19日(日) 第2回キッズ・モノづくり ワンダーランド (岐阜:サイエンスワールド) [スズキ]	18日(土) ものづくりセミナー (豊橋技術科学大学)	
6月	6日(木) 通商総会 会員パーティー (名古屋観光ホテル) [愛知機械工業]	18日(火) No.5 担当幹事会 (アドバンス・スクエア刈谷) [愛知機械工業]	14日(金) No.3 平井精機(株) 本社事業所 [トヨタ自動車東日本]	3日(月) 第2回技術講習会 (刈谷市産業振興センター) [デンソー] 6日(木) 講演会 (名古屋観光ホテル) [愛知機械工業]		16日(日) 第3回キッズ・モノづくり ワンダーランド (富山:黒部市吉田科学館) [ヤマハ発動機]	22日(土) 走行技術トレーニング#1 (エコパ) 29日(土) 機械車検 (トヨタ名古屋自動車学校)	1日 支部ニュースNo.182発行
7月	17日(水)~19日(金) 人デク展2019名古屋 (ポートメッセなごや) 17日(金) 本部第5回支部担当理事会	26日(金) グループ事務担当者会議 (KKRホテル名古屋) [愛知機械工業] 29日(月) 臨時 担当幹事会 (アドバンス・スクエア刈谷) [愛知機械工業]	26日(金) No.4 シチズン時計 マニュファクチャリング(株) 飯田廣岡工場 [ダット] 17日(水) 中部支部企画講演会 (ポートメッセなごや) [トヨタ自動車] 18日(木) 研究発表会 (ポートメッセなごや) [トヨタ自動車]		12日(金) 第1回技術交流会 (豊田中央研究所 厚生センター アクタス) [豊田中央研究所]		6日(土) 学生委員会#2 (刈谷市産業振興センター) 13日(土) 基礎技術交流会 (名城大学) 17日(水)~19日(金) 人デク展 プレゼン・車両展示 (ポートメッセなごや) 21日(日) 走行技術トレーニング#2 (エコパ)	1日 支部ニュースNo.183発行
8月	7日(木)~8日(木) 本部キッズ・エンジェル2019 25日(日)~26日(月) 夏季合同役員会 (No.3 理事会) (No.6 常任幹事会) ホテル&リゾート長浜 [愛知機械工業] 27日(火)~31日(土) 学生フォーミュラ 日本大会2019					7日(水)~8日(木) 本部キッズ・エンジェル2019 (第4回キッズ・モノづくり ワンダーランド) (ポートメッセなごや) [東海理化] 22日(木) 第5回キッズ・モノづくり ワンダーランド (石川:わくわくこまつ館) [三菱自動車工業] 23日(金) 第6回キッズ・モノづくり ワンダーランド (三島:田中みなみ七歳児未来館) [アイシン精機]	6日(月)~7日(水) 合同試走会 (エコパ) 12日(月) 走行技術トレーニング#3 (エコパ)	1日 支部ニュースNo.183発行
9月		10日(火) No.6 担当幹事会 (アドバンス・スクエア刈谷) [愛知機械工業]	6日(金) No.5 トヨタ紡織(株) 鍛造工場 [愛三工業] 27日(金) No.6 (株)JERA (旧 中部電力(株)) 川越火力発電所 [シヤトコ]	13日(金) 第3回技術講習会 (三島市民文化会館) [スズキ]		28日(土) 第7回キッズ・モノづくり ワンダーランド (富山:富山市科学博物館) [デンソー]		26日(木) 中部支部報 宙舞No.85発行
10月	9日(水)~11日(金) 本部秋季大会 (仙台)		11日(金) No.7 (株)ジェイテクト 奈良工場 [デンソーテクノ] 18日(金) No.8 愛知機械工業(株) 熱田工場 [三菱自動車システム] (北陸地区限定)	18日(金) 第4回技術講習会 (名古屋銀行協会) [三菱自動車工業]	3日(木)~4日(金) 中堅技術者懇談会 (名古屋銀行協会) [トヨタ紡織]		6日(土) 参学会#2・学生委員会#3 中部支部交流会 OPとの交流会 (刈谷市産業振興センター) 23日(水),24日(木) モーターショー視察 (東京ビッグサイト)	1日 支部ニュースNo.184発行
11月	20日(木) 秋季合同役員会 (No.4 担当理事会) (No.7 常任幹事会) KKRホテル名古屋 [愛知機械工業]	5日(火) No.7 担当幹事会 (アドバンス・スクエア刈谷) [愛知機械工業]	8日(金) No.9 名古屋大学 NIC [ジェイテクト] 29日(金) No.10 三菱重工航空エンジン(株) [東海理化]	1日(金) 第5回技術講習会 (ポートメッセなごや) [デンソー]	28日(木)~29日(金) 若手技術者懇談会 (堀和セミナープラザ) [トヨタ紡織]	10日(日) 第8回キッズ・モノづくり ワンダーランド (福井:エンゼルランドふくい) [デンソー]	2日(土) ワークショップ講習会 (キョウセイ交通大学) 学生委員会#4 (刈谷市産業振興センター) 30日(土) 静的交流会 (名古屋大学)	
12月			6日(金) No.11 本田技研工業(株) 鈴鹿製作所 [本田技研工業]			22日(日) 第9回キッズ・モノづくり ワンダーランド (三重:みえこどもの城) [豊田中央研究所]	8日(日) スズキエンジン講習会 (静岡理工科大学)	1日 支部ニュースNo.185発行
1月	24日(金) 新年合同役員会 (No.3 常任幹事会) 新年祝賀パーティー (名古屋観光ホテル) [愛知機械工業] 31日(金) 本部新年祝賀パーティー		17日(金) [開催中止] No.12 スズキ(株) 相良工場 [大同メタル工業]		31日(金) 第2回技術交流会 (刈谷市産業振興センター) [豊田中央研究所]	19日(日) 第10回キッズ・モノづくり ワンダーランド (静岡:堀井天文科学館) [ヤマハ発動機]	26日(日) 雪上ドライビング講習会 (開田高原マイアスキー場)	24日 中部支部報 宙舞No.86発行
2月		4日(火) No.8 担当幹事会 (アドバンス・スクエア刈谷) [愛知機械工業]	7日(金) No.13 日本製鉄(株) 名古屋製鉄所 [日本特殊陶業]		14日(金) 女性技術者懇談会 (KKRホテル名古屋) [トヨタ紡織]		1日(土) 学生委員会#5 (刈谷市産業振興センター) 18日(火) ICV・EV比較走行会 (ISK浜名湖店)	1日 支部ニュースNo.186発行
3月			6日(金) [開催中止] No.14 ヤマザキマテック マニュファクチャリング(株) 美濃加茂製作所 [アイシン高圧]				4日(木) [開催中止] 学生委員会引継会 (刈谷市産業振興センター)	

[議案2] 2019年度 支部会計決算報告の件

1. 科目別収支計算書(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:円 消費税を除く)

科目	2019年度	2020年3月 累計			備考 (差額の主な要因)
	予算	予算(a)	実績(b)	差額(b-a)	
収入					
1. 交付金	12,908,000	12,908,000	12,908,000		
(1)本部交付金	11,408,000	11,408,000	11,408,000	0	
(2)特別交付金	1,500,000	1,500,000	1,500,000	0	社会貢献:11日分、学生フォーミュラ:4日分
2. 事業収入	15,532,000	15,532,000	14,987,346	▲ 544,654	
(1)支部通常総会	650,000	650,000	673,939	23,939	
(2)講習会・交流会	3,090,000	3,090,000	2,717,284	▲ 372,716	
a)第1・3回技術講習会	950,000	950,000	825,001	▲ 124,999	参加者:268名/募集目安240名
b)第2・5回技術講習会	1,200,000	1,200,000	1,108,848	▲ 91,152	参加者:313名/募集目安400名
c)第4回技術講習会	440,000	440,000	264,545	▲ 175,455	参加者:100名/募集目安120名
d)技術交流会	500,000	500,000	518,890	18,890	参加者:90名/募集目安100名
(3)技術者懇談会	1,220,000	1,220,000	1,087,275	▲ 132,725	参加者:92名/募集目安100名
(4)体験型講習会	792,000	792,000	781,818	▲ 10,182	参加者:58名/募集目安64名
(5)見学会	1,200,000	1,200,000	996,090	▲ 203,910	参加者:455名/募集目安560名(2回中止分含む)
(6)研究発表会	150,000	150,000	165,740	15,740	
(7)支部報刊行	7,840,000	7,840,000	7,935,416	95,416	
(8)学生関連	590,000	590,000	629,784	39,784	
a)学自研	0	0	141,819	141,819	ICV・EV比較試走会参加費計上
b)中部学生フォーミュラ	590,000	590,000	487,965	▲ 102,035	試走会実施回数減
3. 雑収入	0	0	627	627	
当期収入合計(A) 1~3の合計	28,440,000	28,440,000	27,895,973	▲ 544,027	
4. 繰越金取崩し収入	0	0	0	0	
当期収入合計(B) 含:繰越金取崩	28,440,000	28,440,000	27,895,973	▲ 544,027	
5. 前期繰越収支差額	6,777,506	6,777,506	6,777,506	0	
収入合計(C)	35,217,506	35,217,506	34,673,479	▲ 544,027	
支出					
1. 事業費	28,584,000	28,584,000	27,274,742	▲ 1,309,258	
(1)支部通常総会	2,025,000	2,025,000	1,854,990	▲ 170,010	会場借上げ費減
(2)講習会・交流会	2,810,000	2,810,000	2,425,199	▲ 384,801	
a)第1・3回技術講習会	706,000	706,000	662,622	▲ 43,378	
b)第2・5回技術講習会	913,000	913,000	691,278	▲ 221,722	ITS共催のため会場借上げ費減
c)第4回技術講習会	364,000	364,000	499,532	135,532	会場借上げ費増
d)技術交流会	827,000	827,000	571,767	▲ 255,233	軽飲食費減、講師交通費減
(3)技術者懇談会	2,160,000	2,160,000	1,752,009	▲ 407,991	軽飲食費減、宿泊費減
(4)体験型講習会	1,956,000	1,956,000	1,704,760	▲ 251,240	会場借上げ費減
(5)見学会	1,200,000	1,200,000	848,969	▲ 351,031	開催中止に伴い主にバス費用減
(6)支部報刊行	8,040,000	8,040,000	7,781,690	▲ 258,310	資料印刷費減
(7)研究発表会	150,000	150,000	165,404	15,404	
(8)社会貢献活動	2,220,000	2,220,000	2,923,118	703,118	ウィンドカーとウィンドカーコース備品費増
(9)学生関連	2,912,000	2,912,000	2,218,130	▲ 693,870	
a)学自研	967,000	967,000	960,340	▲ 6,660	
b)中部学生フォーミュラ	1,945,000	1,945,000	1,257,790	▲ 687,210	支部合同試走会負担金費用減、委託費減
(10)刊行物出版	1,700,000	1,700,000	1,696,263	▲ 3,737	
(11)会員関連	183,000	183,000	259,198	76,198	
(12)役員会	1,236,000	1,236,000	1,181,823	▲ 54,177	
a)夏季役員会	600,000	600,000	386,571	▲ 213,429	宿泊費用減、バス費用減
b)新年役員会	400,000	400,000	626,086	226,086	軽飲食費増
c)顧問会・理事会	236,000	236,000	169,166	▲ 66,834	
d)常任幹事会・幹事会	0	0	0	0	
(13)共通	1,992,000	1,992,000	2,463,189	471,189	会議室用プロジェクター購入と設置工事費用増
当期支出合計(D)	28,584,000	28,584,000	27,274,742	▲ 1,309,258	
当期収支差額(B) - (D)	▲ 144,000	▲ 144,000	621,231	765,231	
次期繰越収支差額(C) - (D)	6,633,506	6,633,506	7,398,737	765,231	

[議案3] 2019年度 支部事業および会計監査報告の件

監 査 報 告

2019年度事業および会計の監査をに行った結果、いずれも適正かつ正確であることを認めます。

2020年 4月24日

監査役 岡坂 仁志 

2020年 4月24日

監査役 佐々木 憲夫 

[議案4] 2020-21年度 支部役員の内

(敬称略)

1. 支部長

本部理事兼務

藤本 直也 三菱自動車工業株式会社 執行役員 製品開発本部長

2. 支部顧問

豊田 章一郎 トヨタ自動車株式会社 名誉会長
田中 太郎 元 株式会社デンソー
加藤 喜久雄 元 アイシン精機株式会社
新宮 威一 元 ダイハツ工業株式会社
三田村 樂三 元 三菱自動車工業株式会社
飯田 寛 元 愛知機械工業株式会社
水野 清史 元 アイシン精機株式会社
佐藤 正孝 元 愛知機械工業株式会社
太田 誠一 元 三菱自動車工業株式会社
杉 光 元 株式会社デンソー
田中 泰 元 トヨタ車体株式会社
藤江 直文 元 アイシン精機株式会社
吉田 守孝 株式会社豊田中央研究所 会長
西井 清治 愛知機械工業株式会社 取締役 専務執行役員

3. 支部理事

担当理事 本部理事兼務 (社名五十音順)

宮越 博規 愛三工業株式会社 執行役員
 山本 義久 アイシン・エイ・ダブリュ株式会社 技術本部 専務役員
上田 幸男 アイシン・エイ・ダブリュ株式会社 技術本部 常務役員
江口 勝彦 アイシン精機株式会社 技術開発本部 本部長
 塩田 章人 アイシン精機株式会社 車体商品本部 副本部長
佐々木 信 アイシン精機株式会社 パワートレイン商品本部 副本部長
村山 富幸 アイシン高丘株式会社 専務役員
 竹岡 正毅 愛知機械工業株式会社 常務執行役員
 近藤 功一 株式会社アドヴィックス 技術開発部門 常務役員
梅澤 勝志 臼井国際産業株式会社 常務取締役
田中 俊明 株式会社コンポン研究所 取締役所長代理
千野 靖正 (国研)産業技術総合研究所 中部センター 材料・科学領域 構造材料研究部門 軽量金属設計グループ長
杉山 幸一 株式会社ジェイテクト ステアリング事業本部 執行副本部長
荒木 信幸 静岡理工科大学 名誉学長
吉野 智昭 ジヤトコ株式会社 常務
 鈴木 正倫 スズキ株式会社 四輪原価低減担当 常務役員
鈴木 直樹 スズキ株式会社 コネクテッドセンター長 常務役員
神代 英俊 スズキ株式会社 生産本部長 部長
鳥谷尾 哲也 株式会社SOKEN 常務取締役
吉田 有宏 大同メタル工業株式会社 上席執行役員 技術ユニット長
鈴木 徹志 大豊工業株式会社 代表取締役副社長
久保田 知久雄 株式会社ダッド 取締役会長兼社長
山中 康司 株式会社デンソー 取締役副社長

- | | |
|----------|----------------------------------|
| □ 竹内 克彦 | 株式会社デンソー エレクトロニクスシステム事業グループ 執行職 |
| ○ 近藤 浩 | 株式会社デンソー モビリティエレクトロニクス事業グループ 執行職 |
| 沢田 行雄 | デンソーテクノ株式会社 常務取締役 |
| 水野 善之 | 株式会社東海理化 技術開発センター技術開発領域 領域長 |
| 加古 純一郎 | 豊田合成株式会社 執行役員 |
| 海田 啓司 | トヨタ自動車株式会社 EVP |
| □ 葛巻 清吾 | トヨタ自動車株式会社 フェロー |
| ○ 加古 慈 | トヨタ自動車株式会社 統括部長 |
| □ 永田 雅久 | トヨタ自動車東日本株式会社 専務取締役 |
| 早川 準人 | トヨタ自動車東日本株式会社 プロジェクトB プロジェクトリーダー |
| 松本 洋 | 株式会社豊田自動織機 エンジン事業部 執行職 |
| ○ 大西 謙一 | 株式会社豊田自動織機 エレクトロニクス事業部 執行職 |
| □○ 小西 雄三 | トヨタ車体株式会社 取締役・執行役員 開発本部 本部長 |
| 水澗 英紀 | トヨタ車体株式会社 開発本部 領域長 |
| ○ 小野 英一 | 株式会社豊田中央研究所 要素研究部門 SEE |
| 鷲山 達也 | トヨタテクニカルディベロップメント株式会社 常務取締役 |
| 足立 昌司 | トヨタ紡織株式会社 ユニット部品事業本部 本部長 |
| ○ 小島 和美 | トヨタ紡織株式会社 内装SSセンター センター長 |
| □ 河村 庄造 | 豊橋技術科学大学 機械工学系 教授 |
| 岡本 剛 | 株式会社トランテックス 製品設計部 常務取締役 |
| □○ 青木 宏文 | 名古屋大学 未来社会創造機構モビリティ社会研究所 特任教授 |
| 鈴木 啓司 | 日本特殊陶業株式会社 センサ事業部 執行役員 |
| 中村 貴明 | 本田技研工業株式会社 鈴鹿製作所 完成車保証部 部長 |
| 池浦 良淳 | 三重大学 教授 |
| ○ 澤瀬 薫 | 三菱自動車工業株式会社 EV・パワートレイン技術開発本部 CTE |
| 塩崎 弘隆 | 三菱自動車工業株式会社 第二車両技術開発本部 CTE |
| 志水 彰夫 | 三菱自動車エンジニアリング株式会社 取締役 |
| □ 相馬 仁 | 名城大学 理工学部 教授 |
| ○ 島本 誠 | ヤマハ発動機株式会社 取締役 上席執行役員 モビリティ技術本部長 |

4. 支部監査役

- | | |
|--------|-----------------|
| 田坂 仁志 | 株式会社SOKEN 専務取締役 |
| 佐々木 憲夫 | 元 株式会社豊田自動織機 |

5. 本部理事：中部支部所属の本部理事－中部支部理事扱い

- | | |
|--------|------------------------------|
| 大下 守人 | アイシン精機株式会社 執行役員 |
| 鶴田 清志 | 愛知機械工業株式会社 常務執行役員 |
| 榎本 啓士 | 金沢大学 理工研究域 准教授 |
| 福田 充宏 | 静岡大学 学術院工学領域 教授 |
| 山岸 重雄 | スズキ株式会社 技術管理本部長 常務役員 |
| 飯田 康博 | 株式会社デンソー サーマルシステム事業グループ 経営役員 |
| 内山田 竹志 | トヨタ自動車株式会社 代表取締役会長 |
| 寺師 茂樹 | トヨタ自動車株式会社 取締役・執行役員 |
| 原 徹 | 三菱自動車工業株式会社 第二車両技術開発本部 本部長 |

6. 幹事

○印常任幹事 (社名五十音順)

- 坂井 勤 愛三工業株式会社 技術統括部 企画統括室
- 朝岡 克之 アイシン・エイ・ダブリュ株式会社 技術管理部 リソース管理グループ 主担当
- 安藤 雅彦 アイシン・エイ・ダブリュ株式会社 技術管理部 リソース管理グループ 担当
- 岩田 裕司 アイシン精機株式会社 技術管理部 主査
- 山下 慎一 アイシン精機株式会社 TQM・PM・ISO推進部 チームリーダー
- 宮地 永治 アイシン精機株式会社 技術管理部
- 吉川 秀利 アイシン高丘株式会社 製品エンジニアリング部
- 森 隆夫 愛知機械工業株式会社 株式会社日産オートモーティブテクノロジー パワートレインQCTマネジメント室 主管
- 山田 昌彦 愛知機械工業株式会社 コーポレート企画戦略部
- 四宮 隆 株式会社アドヴィックス 技術統括部
- 前田 賢志 株式会社アドヴィックス アクチュエーション技術部 グループリーダー
- 深澤 正人 臼井国際産業株式会社 グローバルセールス5部 部長
- 長沼 要 金沢工業大学 工学部機械工学科 教授
- 木本 正巳 株式会社ジェイテクト 技術企画部 駆動技術管理室 駆動企画グループ グループ長
- 筒木 徳 (公社)自動車技術会 中部支部 事務局長
- 村上 達樹 (公社)自動車技術会 中部支部
- 小野田 司 ジヤトコ株式会社 グローバル広報部
- 朝間 淳一 静岡大学 准教授
- 野内 忠則 静岡理工科大学 理工学部 機械工学科 准教授
- 高木 俊尚 スズキ株式会社 技術管理部技術教育課 専任職
- 石川 良輔 スズキ株式会社 技術管理部技術教育課 専任職
- 岡 秀樹 スズキ株式会社 技術管理部技術教育課 専任職
- 花橋 実 大同メタル工業株式会社 研究開発センター 知的財産G 課長
- 山田 晃 大豊工業株式会社 第1開発部 主査
- 夏秋 文範 株式会社ダッド メディアソリューション3部 電装品技術室 室長
- 樋田 秀樹 株式会社デンソー 技術開発推進部 技術団体総括課 課長
- 鬼丸 貞久 株式会社デンソー 技術開発推進部 技術団体総括課
- 山本 隆 株式会社デンソー 技術開発推進部 技術団体総括課
- 大原 孝一 デンソーテクノ株式会社 ソフト生産革新部 部長
- 西川 正人 株式会社東海理化 技術管理部 製品環境室 主幹
- 大嶋 元啓 富山県立大学 講師
- 彦坂 篤志 豊田合成株式会社 技術管理部 技術管理室 主担当員
- 川村 訓久 トヨタ自動車株式会社 開発支援部 プロフェッショナルパートナー
- 戸館 順 トヨタ自動車株式会社 開発支援部 主幹
- 大島 利之 トヨタ自動車東日本株式会社 技術統括部 企画・統括グループ 主査
- 香川 和良 トヨタ自動車東日本株式会社 技術統括部 企画・統括グループ GM
- 森 保仁 株式会社豊田自動織機 技術・開発本部 R&D統括部
- 横田 雅裕 株式会社豊田自動織機 自動車事業部 技術部 室長
- 川村 光洋 トヨタ車体株式会社 技術管理部 主査
- 土岐 晃郎 トヨタ車体株式会社 技術管理部 副参事
- 長野 進 株式会社豊田中央研究所 第2要素研究企画・推進室
- 榊原 伸浩 トヨタテクニカルディベロップメント株式会社 計測制御事業本部 事業統括部 SPE
- 早川 哲也 トヨタ名古屋自動車大学校 教育部 グループマネージャー
- 田中 昌巳 トヨタ紡織株式会社 技術管理部 主担当員
- 高師 千秋 トヨタ紡織株式会社 技術管理部 主任

- | | |
|---------|---|
| 安部 洋平 | 豊橋技術科学大学 機械工学系 准教授 |
| 深沢 孝志 | 株式会社トランテックス 企画部 |
| 阿部 英嗣 | 名古屋大学 大学院工学研究科附属材料バックキャストテクノロジー研究センター 助教 |
| ○長崎 正人 | 日本特殊陶業株式会社 ファシリティエンジニアリング本部 企画管理部 副参事 |
| ○三本松 俊雄 | 本田技研工業株式会社 鈴鹿製作所 完成車保証部 完成車保証管理課 技師 |
| 青野 務 | 本田技研工業株式会社 トランスミッション製造部 品質管理部 |
| ○鈴木 克宏 | 三菱自動車工業株式会社 開発管理部 担当マネージャー |
| ○加川 博之 | 三菱自動車工業株式会社 開発管理部 部長付 |
| 仲鳶 浩之 | 三菱自動車工業株式会社 材料技術部 マネージャー |
| ○三浦 正高 | 三菱自動車エンジニアリング株式会社 用品特装技術部 |
| 早藤 英俊 | 名城大学 理工学部 講師 |
| ○海野 敏夫 | ヤマハ発動機株式会社 企画・財務本部 コーポレートコミュニケーション部企画G 主管 |
| 前田 裕幸 | ヤマハ発動機株式会社 先進技術本部技術管理グループ 主査 |

7. 支部担当理事および担当幹事〔支部長より委嘱〕

支部事業を円滑に遂行するため、事業担当理事および担当幹事を委嘱。

(*支部長、監査役は除く。敬称略)

担 当	支部長・担当理事・監査役		担 当 幹 事	
	団 体 名	氏 名	団 体 名	氏 名
* 支 部 長	三菱自動車工業(株)	藤 本 直 也	—————	—————
総 務	三菱自動車工業(株)	澤 瀬 薫	三菱自動車工業(株)	鈴 木 克 宏
会 計	愛知機械工業(株)	竹 岡 正 毅	事 務 局	村 上 達 樹
見 学 会 (奇数回)	(株)アドヴィックス	近 藤 功 一	(株)アドヴィックス	四 宮 隆
(偶数回)	アイシンAW(株)	山 本 義 久	アイシンAW(株)	朝 岡 克 之
技 術 講 習 会 (1, 4回)	ス ズ キ (株)	鈴 木 正 倫	ス ズ キ (株)	高 木 俊 尚
(2, 5回)	アイシン精機(株)	塩 田 章 人	アイシン精機(株)	宮 地 永 治
(3回) (講習会&交流会企画)	トヨタ車体(株)	小 西 雄 三	トヨタ車体(株)	川 村 光 洋
技 術 交 流 会	(株)豊田中央研究所	小 野 英 一	(株)豊田中央研究所	長 野 進
体 験 型 講 習 会 ・ 講 演 会 (総会)	ヤマハ発動機(株)	島 本 誠	ヤマハ発動機(株)	海 野 敏 夫
技 術 者 懇 談 会	トヨタ紡織(株)	小 島 和 美	トヨタ紡織(株)	田 中 昌 巳
編 集 (87号)	(株)豊田自動織機	大 西 謙 一	(株)豊田自動織機	森 保 仁
(88号)	トヨタ自動車(株)	加 古 慈	トヨタ自動車(株)	戸 館 順
学 生 自 動 車 研 究 会	名 古 屋 大 学	青 木 宏 文	トヨタ名古屋 自動車大学校	早 川 哲 也
社 会 貢 献	(株)デンソー	近 藤 浩	(株)デンソー	鬼 丸 貞 久
* 監 査 役	(株)S O K E N	田 坂 仁 志	—————	—————
	元(株)豊田自動織機	佐 々 木 憲 夫	—————	—————

備考：1. 支部担当理事および担当幹事は、支部長の委嘱による。(支部規約第17条)

2. 支部担当幹事は、担当理事を補佐するとともに担当理事会に代理出席することができる。

【議案5】 2020年度 中部支部方針および事業計画

1. 支部方針

- (1) 公益社団法人として、中部支部の特性を生かし、社会的責任および会員への責任を果たせるように努める。そのため、会員相互の交流と自己研鑽を支援し、将来の自動車産業を担う幅広い視野を持った人材の育成に貢献する。
- ① 次世代につながる技術領域を積極的に取り入れ情報発信するとともに、加えて会員相互の交流における技術発表の場、技術レベルの向上に資する機会を提供する。
 - ② 会員自らが持つ技術を生かし、社会貢献活動に積極的に取り組み、ものづくりの楽しさを体験してもらう子ども向けの「ものづくり教室」等の事業を継続する。
- (2) 最大支部に相応しい会員サービスを提供する。
- ① 会員へ有益な情報を分かり易く提供することでイベントへ参加しやすくし、会員の満足度向上を図る。その中でも、人とするまのテクノロジー展での中部支部主催事業を継続し、より多くの会員に参加できる場を提供する。
 - ② 中部支部独自のイベント内容の更なる強化・充実を図り、今後の自動車業界を担う幅広い層から参加できる事業を計画・実行する。

2. 会員増強

支部事業が自動車技術者にとって有益かつ興味を持ってもらえる活動にすることにより、幅広い層への会員増強を図っていく。また、他学会との協賛を通じ、他産業との関わりを持つことで広く会員を募る。年度末の支部会員数目標は、2019年度末の会員数以上とする。

3. 組織

技術者育成事業の講演会企画ワーキングとして運営している総会講演会を委員会化し、企画内容を強化する。

図1 2020年度組織図 参照方

4. 役員会

支部事業の充実をめざし、効率的で効果的な運営に努めるとともに、審議時間を確保し、より深く論議ができる役員会とする。

5. 事業計画

(1) 総会・合同役員会

総会および併催行事、春季合同役員会、夏季合同役員会、秋季合同役員会、新年合同役員会は、19年度同様に開催計画する。

ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総会は中部支部ホームページおよび電子メール、FAXを活用した「書面又は電磁的方法」により、春季合同役員会、夏季合同役員会は書面により、議案の審議と決議を行うこととする。また、総会の併催行事を中止する。

(2) 見学会

技術情報や技術動向を現地現物で提供する場として、多くの方に参加していただけるように2020年度も14回／年開催とする。アンケート結果を参考に自動車に関わる若手・中堅技術者の技術力向上・育成につながる見学先を優先するが、幅広い会員層にも対応して異業種もバランスよく織り込む。走る・曲がる・止まるなど車の基本機能部品に関係する見学先、自動車技術に近い精密機械・航空関係、産学官の協業を意識した研究所、さらにはCASE、MaaS、IoT など先進技術を見学先に加え、新規見学先等、幅広い分野の見学先を積極的に織り込む。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第1回から4回までの見学会を中止した。第5回以降についても、状況を見て開催可否判断するため、中止とする可能性がある。

(3) 技術講習会

会員の研鑽と視野拡大に貢献することを目的に、20年度も計5回開催する。幅広い分野からのテーマ選定により、多くの聴講者を見込むと共に、講演後に講師との個別討議時間を設定する企画を継続し、専門的な関心の高い参加者のニーズにも対応する構成とし満足度向上を図る。

また、会員増のための施策として、会員メリットを強調できる前刷り集データのダウンロードシステム構築を進める。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第1回、第2回の技術講習会を中止した。第3回以降についても、状況を見て開催可否判断するため、中止とする可能性がある。

(4) 技術交流会

同じ分野の研究・開発に携わっている技術者・研究者の研鑽と相互交流を狙い、講演・全体討論・意見交換会で構成する。刈谷市駅付近で年2回(7月と1月)開催を計画し、第1回は7月17日、第2回は1月15日を予定している。1回の募集数は50名、少人数の開催とし交流を容易にする。事前Webアンケートを実施し、参加者にも事前に心構えをしていただくとともに、参加者から質問や期待することを引出し、本会における討議を活発化させる。そして、活発な意見交換を狙い4名の講師を中心にグループ討議を実施し、交流も深めていくという丸1日討論する形式は継続させる。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第1回の技術交流会を中止した。第2回についても、状況を見て開催可否判断するため、中止とする可能性がある。

(5) 体験型講習会

技術者自らが日常では経験できない車の挙動を「体験する」ことで、車の安全運転に対する認識、運転技術の向上を感じ、車の楽しさ、理解を深める場を提供する。一般向け、学生向けに各1回開催する。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮して開催可否判断するため、中止とする可能性がある。

(6) 講演会（総会）

総会での併催行事として講演会を計画・実行する。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演会を中止した。

(7) 技術者懇談会

所属会社、経歴の枠を越えた技術者同士の研鑽と交流を目的に計3回開催とし、若手及び中堅技術者懇談会は1泊2日、女性技術者懇談会は1日コースで、実施する。参加者募集は会員に限定せず、会員数の少ない会社にも幅広く募集する。

女性技術者懇談会も、より多くの女性技術者が参加しやすい工夫をする。

(2019年度：女性アドバイザーを1名から4名に増員し企画・運営を試行中)

また、テーマを「技術者の悩みと解決法」から、より積極的に将来を討議する場にするための検討を開始する。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮して開催可否判断するため、中止とする可能性がある。

(8) 支部報

文字サイズや図の拡大、また、読者アンケートを反映して、読者に読みやすく親しみやすい紙面を提供することとし、87号（9月）、88号（2021年1月）の2回刊行する。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、従来通りの編集活動を行うことができないことにより、発刊時期が遅延する可能性がある

(9) 学生自動車研究会

①学生フォーミュラー大会における完走率向上、静的競技の得点率向上を狙った企画を引き続き実施する。中部支部主催の試走会をエコパで実施（予定）とし、車両完成度の向上とドライビングテクニックの向上を目指す。試走会運営においては、2019年度外部知見を活用した安全運営を実施し、次年度はその運営を学自研内製として試みる。また、基礎技術交流会やテクニカルセミナーを実施し静的競技レベルおよび技術力の向上を図る。

②自動車技術を切り口とした魅力ある行事として、雪上ドライビング講習やカートを使用したICV/EV体験などを企画実施する。また、他支部の学自研行事を参考に、更なる行事の魅力向上を図る。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮して開催可否判断するため、各企画で中止とする可能性がある。

(10) 社会貢献「キッズ・モノづくりワンダーランド」

ウインドカー作りやエンジンの分解組み立てに加え、ロボットカー・プログラミングの運用も19年度より開始。より多くの子供たちにモノづくりへの挑戦・楽しさを感じてもらうために、中部7県の11拠点で、延べ42イベントを開催する。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第1回から第7回までの開催を中止した。第8回以降についても、状況を見て開催可否判断するため、中止とする可能性がある。

(11) ワーキング活動

人とくるまのテクノロジー展名古屋併催の研究発表会、講演会を会員へのサービス向上を目的に今年度も企画・運営する。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人とくるまのテクノロジー展名古屋が中止されたことにより研究発表会、講演会も中止となった。

(12) 広報活動

支部事業案内や事業実施状況など、支部が持つ広告媒体を活用し、タイムリーかつ確実に情報伝達する。

6. 新技術領域拡大ワーキング活動

CASE などの新技術領域に従事する技術者に、中部支部活動を活用いただく。また、中部支部活動や会員のメリットについて、会員外の方に理解できるよう情報発信方法を改善、新規立案する。

① イベント企画 WG

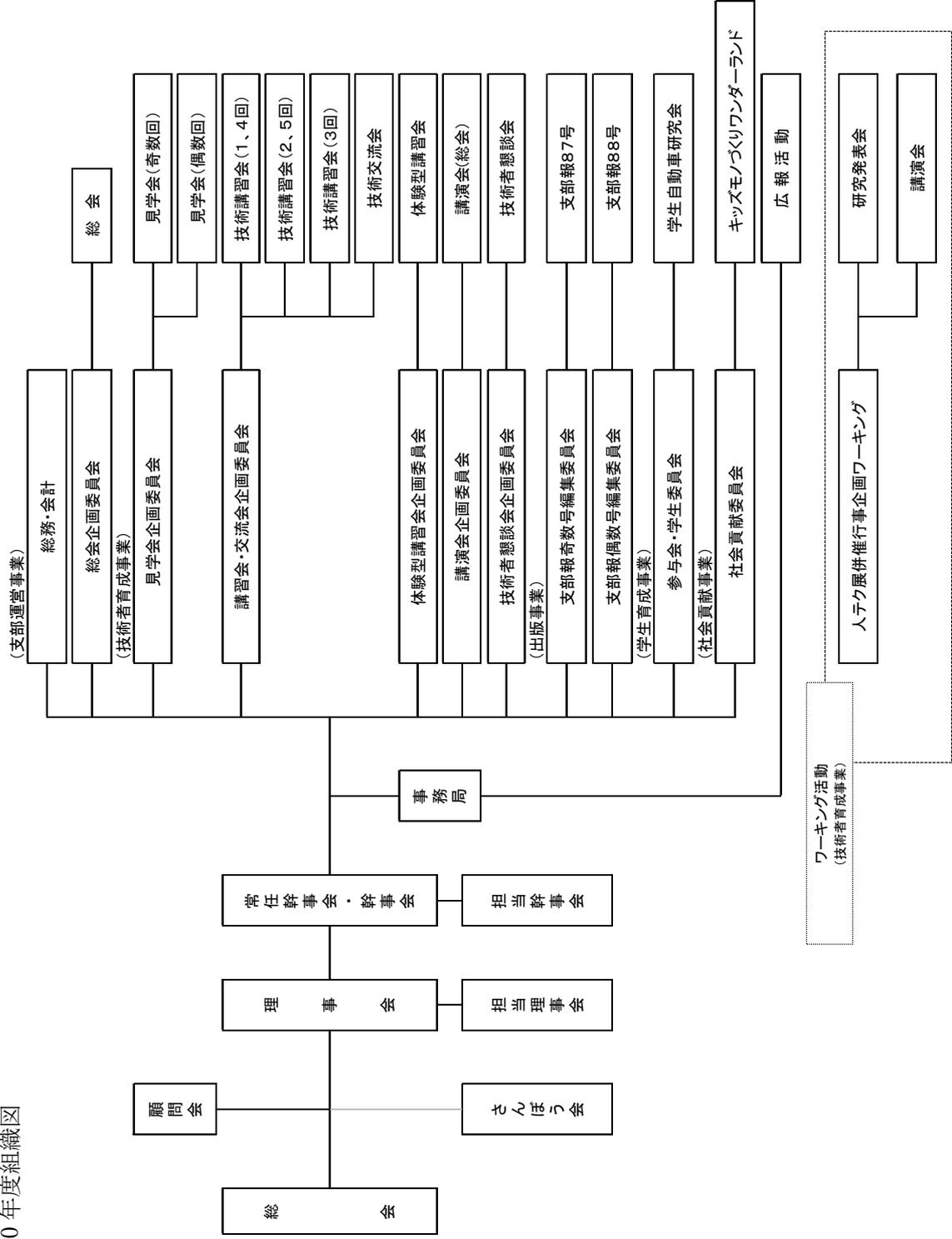
CASE などの新技術領域に従事する技術者が、有益性を享受できるイベントを計画立案する。初年度はテーマを自動運転に絞り構想を進める。

② 情報発信 WG

非会員へ向けて中部支部の情報を伝えるために、4つのポイントについて活動を進める。

- ・ 会員メリット明確化
- ・ 勧誘ツール準備
- ・ 中部支部事業の中での対応
- ・ 人とくるまのテクノロジー展での対応

図 1. 2020 年度組織図



[議案6] 2020年度 支部予算の件

<基本方針> 2020年度支部方針に従い、以下を織り込む

- ・会員相互の交流と自己研鑽を支援し、将来の自動車産業を担う幅広い視野を持った人材の育成に貢献する
- ・会員へより有益な情報を提供することで、イベントへの参加のしやすさを推進し、会員の満足度向上を図る

新型コロナウイルス感染予防対策による事業計画の変更を織り込み、
8月末日処に予算見直しを実施予定です。

(単位:円 消費税を除く)

科目	2019年度		2020年度	増減	備考 (差額の主な要因など)	2018年度
	予算(a)	決算(b)	予算案(c)	差額(c)-(b)		実績(参考)
収入						
1. 交付金収入	12,908,000	12,908,000	12,935,000	27,000		13,135,000
(1)本部交付金	11,408,000	11,408,000	11,335,000	▲ 73,000		11,635,000
(2)特別交付金(フォーミュラ試走会)	400,000	400,000	400,000	0		600,000
(3)特別交付金(社会貢献キッズ)	1,100,000	1,100,000	1,200,000	100,000	開催1回増(川越)	900,000
2. 事業収入	15,532,000	14,987,346	15,231,000	243,654		14,760,475
(1)支部通常総会	650,000	673,939	650,000	▲ 23,939		763,886
(2)技術講習会・交流会	3,090,000	2,717,284	2,640,000	▲ 77,284	【2020年度算出方法】 募集目安人数× 正会員参加費	2,850,469
a)第1・4回技術講習会	950,000	825,001	720,000	▲ 105,001		892,593
b)第2・5回技術講習会	1,200,000	1,108,848	960,000	▲ 148,848		1,006,485
c)第3回技術講習会	440,000	264,545	360,000	95,455		538,891
d)技術交流会	500,000	518,890	600,000	81,110		412,500
(3)技術者懇談会	1,220,000	1,087,275	1,220,000	132,725		1,374,075
(4)体験型講習会	792,000	781,818	600,000	▲ 181,818		707,410
(5)見学会	1,200,000	996,090	1,080,000	83,910		1,104,633
(6)研究発表会	150,000	165,740	191,000	25,260		0
(7)支部報刊行	7,840,000	7,935,416	7,840,000	▲ 95,416		7,306,300
(8)学自研	0	141,819	400,000	258,181		212,962
(9)中部学生フォーミュラ	590,000	487,965	610,000	122,035		440,740
3. 雑収入	0	627	0	▲ 627		472
当期収入合計(A) (1~3の合計)	28,440,000	27,895,973	28,166,000	270,027		27,895,947
4. 繰越金取崩し収入	0	0	0	0		0
当期収入合計(B) (含:繰越金取崩)	28,440,000	27,895,973	28,166,000	270,027		27,895,947
5. 前期繰越収支差額(除 取崩分)	6,777,506	6,777,506	7,398,737	621,231		6,081,948
収入合計(C)	35,217,506	34,673,479	35,564,737	891,258		33,977,895
支出						
1. 事業費	28,584,000	27,274,742	28,148,000	873,258		27,200,389
(1)支部通常総会	2,025,000	1,854,990	2,000,000	145,010		1,895,570
(2)講習会・交流会	2,810,000	2,425,199	3,034,000	608,801		2,528,155
a)第1・4回技術講習会	706,000	662,622	742,000	79,378		704,908
b)第2・5回技術講習会	913,000	691,278	943,000	251,722	会場借上費増 (第5回銀行協会開催想定)	959,204
c)第3回技術講習会	364,000	499,532	478,000	▲ 21,532		242,737
d)技術交流会	827,000	571,767	871,000	299,233	参加人数の増加を見込み軽飲食費増	621,306
(3)技術者懇談会	2,160,000	1,752,009	2,160,000	407,991	参加人数の増加を見込み軽飲食費増	2,025,789
(4)体験型講習会	1,956,000	1,704,760	969,000	▲ 735,760	開催2回を1回減	1,804,897
(5)見学会	1,200,000	848,969	1,200,000	351,031	開催回数増	1,040,018
(6)研究発表会	150,000	165,404	191,000	25,596		0
(7)支部報刊行	8,040,000	7,781,690	8,030,000	248,310	発行部数と頁数の増加を見込み印刷費増	7,567,133
(8)社会貢献活動	2,220,000	2,923,118	2,369,000	▲ 554,118	消耗品費減	1,559,558
(9)学自研	967,000	960,340	1,312,000	351,660		1,031,441
(10)中部学生フォーミュラ	1,945,000	1,257,790	1,258,000	210		1,880,032
(11)刊行物出版	1,700,000	1,696,263	1,700,000	3,737		1,650,841
(12)会員関連	183,000	259,198	745,000	485,802	会員入会促進費増,WG活動費を含む	271,576
(13)役員会	1,236,000	1,181,823	1,380,000	198,177		1,544,104
a)夏季役員会	600,000	386,571	500,000	113,429		799,287
b)新年役員会	400,000	626,086	500,000	▲ 126,086		481,550
c)顧問会・理事会	236,000	169,166	380,000	210,834	顧問会開催年	233,996
d)常任幹事会・幹事会	0	0	0	0		29,271
(14)共通	1,992,000	2,463,189	1,800,000	▲ 663,189	消耗品費減	2,401,275
当期支出合計(D)	28,584,000	27,274,742	28,148,000	873,258		27,200,389
当期収支差額(B)-(D)	▲ 144,000	621,231	18,000	▲ 603,231		695,558
次期繰越収支差額(C)-(D)	6,633,506	7,398,737	7,416,737	18,000	《繰越金合計》	6,777,506



(公社)自動車技術会中部支部

<http://www.jsae.net/chubu/>